

事業の概況

Tire Group

タイヤ事業

<当期の概況>

タイヤ事業の売上高は前期比11.0%増の3,727億円となりました。北米・欧州を中心に海外販売が拡大し、国内も新車用タイヤが好調で売り上げを伸ばしました。しかし、天然ゴムを中心とする原材料価格の高騰が影響し、営業利益は同19.0%減の147億円となりました。

2007年度はタイヤフィリピンでの増産により、タイヤの海外販売をさらに伸ばす計画で、売上高は前期比8.1%の4,030億円、営業利益は39.7%増の205億円を見込んでいます。

日本

輸出車の生産増加で新車用が好調

国内は市販用タイヤが伸び悩んだものの、新車用タイヤが好調で販売本数を伸ばしました。新車用は輸出向け車両の生産増加を追い風に、特に高付加価値のSUV用タイヤやハイインチタイヤが増え、販売本数・売り上げともに大幅に伸長しました。市販用タイヤは夏タイヤが堅調でしたが、昨年の記録的な大雪から一転して全国的な暖冬となり、スノータイヤの需要が大幅に減少したため販売本数が前年を下回りました。

2007年度は環境をキーワードに開発した新商品を積極的に投入します。2月に省燃費のエコタイヤシリーズから静かさと安定感が特徴の大型ミニバン用「DNA GRAND map」を発売したほか、4月には燃費改善に加え、耐久性も大幅に高めたトラック・バス用タイヤ「ZEN」を投入。7月には非石油系の原材料を80%に高め、燃費や静粛性にも優れる「DNA dB super E-spec」を発売します。グローバル・フラッグシップ・ブランド「ADVAN」の販売にも引き続き力をいれ、付加価値の高い高性能商品を軸に販促活動を実施し、ブランドイメージの向上と販売増をめざします。

北米

需要減にもかかわらず販売増に

横浜ゴムはYokohama Tire Corporation(YTC)での現地生産を中心にタイヤ事業を展開しており、

2006年(1-12月)のYTCの業績は売上高が前期比15.5%増の6億1,828万ドルとなりました。米国市場の需要減にもかかわらず、コンフォート系の「AVID TRZ」やスポーツ系の「AVS ES100」など高付加価値のヨコハマブランドのタイヤが好調で販売を伸ばしています。中小ディーラーの新規開拓やカーディーラーとの取引拡大を積極的に推進したことも寄与しました。原材料費の上昇や流通コストの増加によるコストアップはありましたが、販売ミックスの改善に加え、増販や値上げで吸収し、収益も大幅に改善しています。

アジア

中国で販売拡大

日本以外のアジアでは、中国が牽引し販売本数を伸ばしました。中国は前期比20%の販売増で、上海

の販売会社が今期から本格的に販売活動を開始したことが大きく貢献しました。特にトラック・バス用タイヤは、同タイヤを生産する蘇州横浜輪胎有限公司の2008年3月の立ち上げを見据え、日本製を投入し先んじて販売網の構築に取り組んだため、大きく伸長。乗用車用タイヤも販売強化と杭州横浜輪胎有限公司の増産に伴い、市販用のほか新車用が日系カーメーカー向けに伸びています。

中国に次いで高い販売の伸びをみせたのがタイで、前期比16%増となりました。2005年4月のヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイの稼働でヨコハマの認知度が高まったうえ、販売代理店との連携や小売店網の拡大など販売面の強化が寄与しています。韓国も需要が低迷するなか、ハイパフォーマンスタイヤが好調で販売を伸ばしました。



大型ミニバン向けに、静かで安定感のある乗り心地を実現した「DNA GRAND map」



「ADVAN Sport」が2006年度も欧州のトップブランド車に相次ぎ新車装着を決めた。採用されたのは独アウディ社の「S8」(上)や、独ブラバス社の「BRABUS ROCKET」(右)



一方、アジア全体で進めているハイパフォーマンスタイヤへのシフトは、2006年にスポーツタイヤ「S.drive」、RV用の「GEOLANDAR A/T-S」などの投入を進めたものの、需要に供給が追いつかず、台湾やタイを除くアセアン諸国での伸び悩みにつながりました。多くが日本からの輸出品のため、2007年は国内工場の増産を背景に、これら商品の販売拡大に力をいれます。

成長著しい中国、インドに焦点

中国では販路開拓をさらに進め、2007年に入ってからトラック・バス用タイヤの販売は2006年を上回るペースで伸びています。乗用車用タイヤも市販用、新車用ともに引き続き販売増が見込まれ、杭州横浜輪胎有限公司では第3期のライン増設に着手しました。

経済成長のめざましいインドでの販売強化にも乗り出します。これまでシンガポールのタイヤ販売代理店を通じて販売してきましたが今年1月、ニューデリーにタイヤ販売会社を設立。当面はタイヤ販売業務からスタートしますが、将来的にはインドでの事業統括会社として、タイヤ工場の建設に加え、ホースや接着剤など自動車関連商品の展開も視野に入れていきます。

欧州

ロシアとドイツ圏を中心に販売好調

欧州全般の好景気に支えられ、当期も引き続き販売本数を伸ばしました。特にロシアの成長が著しく、前年に比べ2倍近い販売増を達成しました。同国のモータリゼーションが加速するなか、2005年に立ち上げた販売会社が本格的に販路開拓を進めたのが大きな要因です。ドイツでのウィンタータイヤの装着義務化も追い風となりました。ドイツを中心に周辺国のオーストリアやスイスでも同タイヤが大きく販売を伸ばしています。さらに「ADVAN」などハイパフォーマンスタイヤの販売も欧州全般で好調でした。世界ツーリングカー選手権(WTCC)をはじめ、ドイツF3、イタリア・ツーリングカー・チャンピオンシップ(ITCC)、ロシア・ツーリングカー・チャンピオンシップ(RTCC)などへのタイヤ供給で、高性能ブランドのイメージが浸透してきたことが高付加価値商品の販売増につながっています。

2007年は需要が伸びているウィンタータイヤ市場に新商品「W. drive」を投入し、さらに販売拡大を図ります。2006年に欧州全域にまたがるタイヤ

販売大手チェーンの攻略が進んだことも、販売に寄与する見込みです。また2006年に続き、2007年もWTCCへのタイヤ供給が決まりました。各国ローカルレースへのタイヤ供給も増えており、レース活動と連動して認知度アップとスポーツイメージの強化を図り、ハイパフォーマンスタイヤの販売拡大をさらに進めていきます。

成長続くロシアで販売強化

今後も旺盛な需要が見込めるロシアでは、重点的に販売強化を図っていきます。2006年はスタッドタイヤの販売が伸びたほか、新たに投入したスタッドレスタイヤが順調な売れ行きでした。ロシアはスタッドタイヤが主流ですが、静かで乗り心地に優れるスタッドレスタイヤの性能をアピールし積極的に販売拡大を図る考えです。また、ロシアではRTCCレースへのタイヤ供給で高性能タイヤとしてのブランドイメージが高まり、ハイパフォーマンスタイヤ「ADVAN」や個性的なデザインが特徴のSUV向け「PARADA Spec-X」など高付加価値商品の販売が非常に好調です。2007年はレース活動に加え、テレビCMや雑誌広告、屋外ボード広告を中心に広告宣伝活動を積極的に展開する予定で、認知度アップとスポーツイメージの浸透をさらに強化し、高付加価値商品の販売増につなげていきます。販路拡大にも引き続き力を入れ、2006年は大手販売チェーンを中心に販路開拓を進めましたが、今後はカーディーラーやカスタムショップへもアプローチを強めます。

その他の地域

中近東では販売本数は前期並みとなりましたが、値上げや円安効果で収益性が改善しています。乗用車用はSUV用の新商品であるハイウェイレーン用「GEOLANDAR H/T-S」、オフロード用「GEOLANDAR A/T-S」を中心に販売を伸ばしましたが、トラック・バス用は前年を下回りました。

オーストラリアを中心とする大洋州では、外国製の廉価品の流入で乗用車用タイヤ、トラック・バス用タイヤの価格が軟化しました。しかし、横浜ゴムは高性能ブランドとして定着しており、売り上げ・販売本数ともに伸ばしています。自系列販路のTyres & Moreの店舗数が順調に伸びたほか、新商品の「GEOLANDAR H/T-S」などが好調でした。ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイからの供給を受けてトラック・バス用も伸長し、供給状況は厳しいものの建設車両用も増加しました。

中南米はブラジル・アルゼンチンを中心に販売本数を伸ばしました。乗用車用は旺盛な需要を背景に販売を伸ばしましたが、トラック・バス用は収益重視の対応で前期並みにとどまりました。



個性的なトレッドパターンが人気のSUV向け「PARADA Spec-X」

タイヤの増産計画をさらに上乗せ

好調な海外販売をさらに拡大するため、新たな増産計画を決定しました。ひとつはヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイの乗用車・ライトトラック用タイヤ工場の第2期拡張です。2006年度末時点の年間生産能力は70万本ですが、2008年度末までに260万本に引き上げます。もうひとつは国内の新城南工場の拡張で、年間生産能力を2006年度末の

100万本から2008年度末には同260万本に拡大する計画です。特に需要が旺盛な16インチ以上のハイパフォーマンスタイヤを増強します。この結果、横浜ゴムグループの年間生産能力は2006年度末の4,995万本から2008年度末には5,685万本に拡大する計画で、昨年5月に発表の計画に対してさらに30万本の増産です。

資源開発需要の波に乗るORタイヤ事業 ラジアルタイヤの生産増強で次の成長ステップへ

活発な資源開発を追い風に、鉱山、港湾荷役、建設現場などで使用する建設車両用(OR:Off the Road)タイヤ事業の業績が好調です。2006年度の売り上げはORタイヤの需要が底を打った2003年度に比べ80%増、営業利益率は10%を超えました。この好機に成長を加速するため、2009年までに尾道工場の生産能力を約50%増やす計画です。超大型ラジアルタイヤの量産化にも挑戦し、さらなる生産拡大を検討しています。

世界市場は年率7%で成長

大型建設車両に装着されるORタイヤの2006年の市場規模は約40万トン。市場の伸びは乗用車用タイヤやトラック・バス用タイヤより高く、2004年以降、平均年率7%で拡大しています。背景にあるのは、世界的な資源開発の活発化と、中東や中国、ASEAN諸国での建設ラッシュ。20年周期といわれる建設需要循環が2003年頃より上昇局面に入り、BRICsの発展がこれから本格化することなどから、今後10年以上は需要拡大が続くと予想されています。

ラジアルタイヤを中心に生産能力を50%増へ

横浜ゴムは旺盛な需要を積極的に取り込むため、35億円を投資し、ORタイヤの生産拠点である尾道工場の敷地内に第二プラントを建設しました。新工場で生産するのは内径25、33、35インチ(外径1.5m~2.2m)のラジアルタイヤ。主に鉱山、砕石現場で使用する30~75トンのダンプトラック向けで、世界市場で高い需要が続いて

います。第二プラントでは2006年11月から25インチの生産をスタート。順次サイズを拡大して、2009年までに現状の月産1,100トンから約50%増の1,620トンに引き上げる計画です。

バイアスタイヤは得意分野へ絞り込み

大手競合メーカーはラジアルタイヤへシフトしていますが、横浜ゴムはバイアスタイヤの生産も継続します。港湾荷役、地下鉱山用車両向けなどはラジアルよりバイアスが強みを発揮できる分野で、横浜ゴムがOEM装着率で高いシェアを獲得。顧客ニーズにきめ



資源開発の活発化で、鉱山向けのダンプトラック用タイヤのニーズが高い

タイヤ生産能力(万本)

	工場	製品	2006年度末	2007年度末	2008年度末
日本	三重	トラック・バス用、乗用車用、ライトトラック用	600	605	610
	三島	乗用車用	1,370	1,380	1,380
	新城	乗用車用	1,410	1,450	1,450
	新城南	乗用車用	100	110	260
米国	ヨコハマタイヤ・コーポレーション	乗用車用	550	550	550
	GTYタイヤ・カンパニー	トラック・バス用	50	50	50
フィリピン	ヨコハマタイヤ フィリピン Inc.	乗用車用	610	700	750
中国	杭州横浜輪胎有限公司	乗用車用	200	200	270
	蘇州横浜輪胎有限公司	トラック・バス用	-	-	35
タイ	ヨコハマタイヤ・	トラック・バス用	35	40	70
	マニュファクチャリング・タイ	乗用車用、ライトトラック用	70	130	260
合計			4,995	5,215	5,685

細かく対応し、他社の真似できない高品質のバイアス商品で高い収益率を確保しています。得意とするのは港湾でコンテナ貨物を揚げ積みするラバータイヤ式ガントリークレーンや40トン以上の大型フォークリフト向けなどで、耐久性の良さに定評があり、ナンバーワンブランドとして認知されています。バイアスタイヤをこうした得意分野に集中させ、販売を伸ばしていく計画です。

営業利益率は10%を突破

2006年度のOR事業の売り上げは、ORタイヤの需要が底打ちした2003年度に比べ80%増となりました。営業利益率はすでに新中期経営計画「グランドデザイン100」で定めた10%を超える水準で推移。国別、カテゴリー別、サイズ別に綿密に検証し、マーケットを絞りこんだ効率的な販売が効果を上げました。2009年度の売り上げは2003年度の3倍をめざします。生産増強でラジアルタイヤの販売をさらに増やす一方、バイアスタイヤは港湾荷役用車両などの得意分野に特化する戦略です。24インチ(外径1.4m)以下は新興国メーカーが参入し価格競争が厳しいため、尾道工場では25インチ以上の生産に集中し、収益力をさらに強化する考えです。

超大型ラジアルタイヤに挑戦

ラジアルタイヤでより大型サイズの量産化にも踏み

切ります。今回立ち上げた尾道工場の第二プラントでは33インチ以上の量産に初めて着手する計画。超大型の49インチ(外径2.7m)以上は現在開発中で、グランドデザイン100のフェーズII(2009~2011年度)での生産立ち上げをめざしています。



内径35インチのORタイヤ。手前は乗用車用タイヤ